

"足りないものにばかりに目を向けて落ちこむのはもう終わり"



34歳で独身、大学も1年で中退し、レストランの給仕として働くブリジットは夏のナニー(子守り)の短期仕事を得るのに必死だ。うだつのあがらない日々を過ごすブリジットの人生に、6歳の少女フランシスや彼女の両親であるレズビアンカップルとの出会いにより、少しずつ変化の光が差してくる――。

SNSでシェアされる、人々の充実したように見える人生。人と比べて落ちこみ、満たされない気持ちや不安にさいなまれる人は大勢いるはず。でも、人生なんてそんなに完ぺきじゃない。言えない悩みや秘密を抱えていたり、社会が決めたルールに振り回されてたり、生き方に自信を持てなかったり……。『セイント・フランシス』はそんな不安だらけの毎日を生きるすべての人々に優しいエールを贈る。













グレタ・ガーウィグに続く才能!タブーとされていた「女性あるある」をユーモアと見事なバランスで描く ケリー・オサリヴァンの脚本デビュー作

これまで赤裸々に描かれることが少なかった生理、避妊、中絶といった女性の身体にのしかかる負担やプレッシャー、さらにブリジッドが直面する年齢差別や、レズビアンカップルに対する社会的な差別といったリアルを、軽やかに脚本に落としこんだのは主演も務めるケリー・オサリヴァン。グレタ・ガーウィグの『レディ・バード』の女性の描き方に触発され本作の執筆を開始。社会問題と共に大人だからこその苦悩と揺れ動く心情、そして今を生きる人たちの本音をユーモアと感動を交えてナチュラルに描いた。私生活でパートナーでもあるアレックス・トンプソンが監督を務めた。このクリエイティブなカップルに大注目!

hark3.com/frances

監督:アレックス・トンプソン 脚本:ケリー・オサリヴァン 出演:ケリー・オサリヴァン、ラモナ・エディス・ウィリアムズ、チャーリン・アルヴァレス、マックス・リブシッツ、リリー・モジェク 2019年/アメリカ映画/英語/101分/ビスタサイズ/5.1chデジタル/カラー 字幕翻訳:山田龍 配給:ハーク © 2019 SAINT FRANCES LLC ALL RIGHTS RESERVED

8.19 [fi] Roadshow

有楽町イトシア イトシアプラザ4F エテアトルシネマク"ルーフ°

ヒューマントラストシネマ有楽町 03-6259-8608 ttcg.jp JR新宿駅中央東口 ビックロ裏 武蔵野ビル3F

汀 **イ百 止し 形成 当了 目目** 03-3354-5670 shinjuku.musashino-k.jp JR渋谷駅徒歩3分 三葉ビル7F **CINE QUINTO**03-3477-5905